

平成22年度 市民が選ぶ市民活動団体支援制度についての市民活動団体アンケート結果

* = 問1の2(参加したことのない団体)のコメント

問	回答	集計	%
問1.	1%支援制度は今年で6年目を迎えました、団体としてこの制度に参加したことはありますか。1つ選んでください。	103	100%
	1. 参加したことがある(問2へ)	87	84%
	2. 参加したことはない(問6へ)	16	16%
問2.	1%支援制度へ参加されたのは何回目ですか。1つ選んでください。	87	100%
	1. 今年初めて参加した	9	10%
	2. 2~3回	31	36%
	3. 4~5回	20	23%
	4. 6回	27	31%
問3.	この制度に参加したことで、団体にとってのメリットはなんですか。1つ選んでください。	94	100%
	1. 市民の方に団体の活動内容等を知ってもらえる	38	40%
	2. 支援金をいただくことで、充実した事業が展開できる	52	55%
	3. 事業を行ったことで、団体の会員数等が増える	1	1%
	4. 特になし	0	0%
	5. その他(具体的に)	3	3%
	★文学という地味な活動ですがこの制度により参加される方が出てきている。 ★市川の文化と歴史を知っていただく機会を作ることができた。 ★信頼感を持っていただけ。		
問4.	この制度に参加したことで、団体にとってのデメリットはなんですか。1つ選んでください。	88	100%
	1. 支援金がなかなか集まらない	12	14%
	2. 提出書類等の事務作業に時間がかかる	35	40%
	3. 事業を行なったが、あまり参加者が集まらない	4	5%
	4. 特になし	33	38%
	5. その他(具体的に)	4	5%
	★支援金が総事業費の半額である事。 ★活動内容を紹介するとき、市の広報は役立たない。文字が小さくて、字数・内容の制限がきびしい。 ★市の広報活動による周知が行き届かない。 ★支援金は計画通り集まりましたが、行事開催時に参加費が集まらない(雨天の影響が大きい)		
問5.	この制度に参加して、団体の活動にどのような変化がありましたか。1つ選んでください。	95	100%
	1. 活動の情報を市民に提供する機会が増えた	59	62%
	2. 広く市民を対象とした企画できるようになった	10	11%
	3. 事業の組み立て(予算の作成・実績報告)ができるようになった	11	12%
	4. 団体同士の交流の場が増えた	5	5%
	5. 特になし	7	7%
	6. その他(具体的に)	3	3%
	★活動内容への信頼度が増えた。 ★会員の職業訓練の場が増えた。 ★参加者の交通安全対策充実。会員とのコミュニケーションができた。		
問6.	1%支援制度に応募しなかったのは、どのような理由からですか1つ選んでください。	21	100%
	1. 応募の要件を満たしていないので、応募できなかった	5	24%
	2. 市民からの支援は必要ないと思っているから	4	19%
	3. 応募書類や報告書の作成、提出が負担であるから	7	33%
	4. 1%支援制度を知らなかったから	0	0%
	5. 1%支援制度に反対しているから	0	0%

	<p>6. その他（具体的に）</p> <p>★制度に不備があるから。 ★現在受けている助成で制約があるため。 ★センターとの連絡調整をする人材がいない。 ★市民の税金からいただく必要ありません。 ★運営経費が掛かっていないから。</p>	5	24%
問7.	<p>1%支援制度について、現在、どのように感じていますか。1つ選んでください。</p> <p>1. 良い制度であり、現在の内容を変えずに続けるべきである（問9へ） 2. 改善すべき点は改善して、よりよい制度にしていくべきである（問8へ） 3. 良い制度とはいえないので、やめるべきである（問9へ） 4. よくわからない（問9へ） 5. その他（具体的に）</p> <p>★問題点を見直すべきである。</p>	102	100%
	1. 良い制度であり、現在の内容を変えずに続けるべきである（問9へ）	18	18%
	2. 改善すべき点は改善して、よりよい制度にしていくべきである（問8へ）	81	79%
	3. 良い制度とはいえないので、やめるべきである（問9へ）	2	2%
	4. よくわからない（問9へ）	0	0%
	5. その他（具体的に）	1	1%
	★問題点を見直すべきである。		*
問8.	<p>問7で「2」を選んだ方に、お尋ねします。改善すべき点として考えられるものを2つ選んでください。</p> <p>1. 審査会での基準を見直し、もっと団体を厳選したほうがよい 2. 分野ごとに支援対象団体数の上限を設けたほうがよい 3. 希望支援額に上限を設けたほうがよい 4. 毎年度、同じ事業提案は受け付けるべきではない 5. 市民が選択届出する際、3団体は多すぎる 6. 希望支援額に届かなかった団体に対し、救済措置を設けたほうがよい 7. 団体番号を固定化したほうがよい 8. 市民に対し、もっとPRができる場があったほうがよい 9. 届出方法を簡素化すべき（具体的に）</p> <p>★過去に出した団体の対象事業の届出だけでOKとする。 ★納税者番号による申請の他、住所・氏名・電話その他・本人確認で行う。 ★協働との関連を明確にすべきである。 ★納税番号をほとんどの方が知らない。番号が分からない人は、免許証のコピー等を取るが大変手間、提出率が低い。良い方法を考えてほしい。 ★ファックス・メールで届出ができると良い。 ★氏名だけで支援できるように。納税の番号とか分かりづらい。 ★全般に ★インターネットを利用 ★エコポイント以外の方法 ★会員数等が少ない、始めたばかり団体にはフォローが欲しい。 ★1%支援の応援をしていただく方の届出について、市民税を納めたNo.が分からない方が(サラリーマンに)多い。 ★収入が支援額に届かず折角の支援分を返却している。収入が少なくても支援額を活用したい。</p>	149	100%
	1. 審査会での基準を見直し、もっと団体を厳選したほうがよい	29	19%
	2. 分野ごとに支援対象団体数の上限を設けたほうがよい	6	4%
	3. 希望支援額に上限を設けたほうがよい	9	6%
	4. 毎年度、同じ事業提案は受け付けるべきではない	3	2%
	5. 市民が選択届出する際、3団体は多すぎる	10	7%
	6. 希望支援額に届かなかった団体に対し、救済措置を設けたほうがよい	22	15%
	7. 団体番号を固定化したほうがよい	19	13%
	8. 市民に対し、もっとPRができる場があったほうがよい	15	10%
	9. 届出方法を簡素化すべき（具体的に）	19	13%
	★過去に出した団体の対象事業の届出だけでOKとする。 ★納税者番号による申請の他、住所・氏名・電話その他・本人確認で行う。 ★協働との関連を明確にすべきである。 ★納税番号をほとんどの方が知らない。番号が分からない人は、免許証のコピー等を取るが大変手間、提出率が低い。良い方法を考えてほしい。 ★ファックス・メールで届出ができると良い。 ★氏名だけで支援できるように。納税の番号とか分かりづらい。 ★全般に ★インターネットを利用 ★エコポイント以外の方法 ★会員数等が少ない、始めたばかり団体にはフォローが欲しい。 ★1%支援の応援をしていただく方の届出について、市民税を納めたNo.が分からない方が(サラリーマンに)多い。 ★収入が支援額に届かず折角の支援分を返却している。収入が少なくても支援額を活用したい。	17	*
	★氏名だけで支援できるように。納税の番号とか分かりづらい。		*
	★全般に		
	★インターネットを利用		
	★エコポイント以外の方法		
	★会員数等が少ない、始めたばかり団体にはフォローが欲しい。		
	★1%支援の応援をしていただく方の届出について、市民税を納めたNo.が分からない方が(サラリーマンに)多い。		
	★収入が支援額に届かず折角の支援分を返却している。収入が少なくても支援額を活用したい。		
	10. その他（具体的に）	17	11%
	★団体の活動内容に応じた資金配分があると良い ★市民にとって必要なボランティア団体に限定すべき。 ★エコボカードの金額は別枠とすべきではないか。希望額をオーバーした時、基金に入ってしまうのは不合理だ。 ★広報が市民に浸透していない状況です。冊子に掛ける予算をもっと有効利用する。（市民団体が広報することに支援していく） ★例えば、希望支援額が3分の1に満たない場合に救済措置をいただける等。 ★制度そのものを理解していない一般の方が多くいるので、もっと制度のPRをした方が良い。		

<ul style="list-style-type: none"> ★市民税、エコボカードだけではなく、誰でも応募でき、市民税を納めていない人は、基金から一人何円と決めて応援できるようにする。 ★飲食代として支援金を使っている団体がある。又、本来のNPO活動に「ズレ」している団体がある。 ★制度の仕組み(支援金の交付を希望する団体の要件)等を市民に周知する。 ★主旨、方法が違わなければ細かい部分の変更を可能にして欲しい。 ★今は、特に思い当たる改善すべき点はない。 ★駐車場もなくなったし、NPOに出向くのが大変。書類等、送っていただけるとありがたい。 ★少数のメンバーが広く市民に対し啓蒙活動をおこなっている必要経費に対し支援額が少ない。活動内容によって%を加算して欲しい。 ★事業内容により年度内使い切りを改め繰越金を認めるべき。 ★納税者でなくても届出できるようにして欲しい。 ★基金についてよく分からない。PR等にお金をかけすぎ。 		*
<p>問9. 1%支援制度では、市民活動団体支援基金への積立を選択することもできます。この基金から、昨年度には団体が利用できる機材(マイク、パソコン、プロジェクタ等)の購入や1%サミット開催費用に充ててきました。この基金を今後どのように使うべきだと思いますか。1つ選んでください。</p>	166	100%
1. 1%支援制度や市民活動のPRに使うべき	83	50%
2. 市民活動団体への人材育成や物品の貸与など、共通する支援に使うべき	31	19%
3. 市民活動団体への融資制度など、新たな資金的支援策に使うべき	10	6%
4. 1%支援制度で支援の少ない団体へ補填をすべき	17	10%
5. 1%支援制度の財源として確保しておくべき	8	5%
6. 基金は廃止すべき	5	3%
7. わからない	5	3%
8. その他(具体的に)	7	4%
<ul style="list-style-type: none"> ★地域福祉活動を行うボランティア団体の事務所や会場費の支援、及び事務局専従者の補助等に有効に使ってほしい。 ★制度を維持するため強い基盤となる財源をある時期まで確保された後、有効に使われたらと思います。 ★それぞれの届出事業時の会場費を例えば1割負担するなどの直接支援に使う。 ★各公民館に配備されている機器は、古いものもあり、配置状況がアンバランスだ。特に行徳地区は、一度、機器の総点検をして、新しい機器の導入を考えてほしい。 ★福祉や教育など、税金として使えるように戻したらどうでしょう。 ★1%支援団体を特に優遇してボランティアセンターにロッカーを作るとか、市民団体が自由に使えるフロア(会議やミーティングなどに)が欲しい。 ★市民税のない人達の応募できる資金にする。 		*
<p>問10. 市民活動団体と市との関わり方について、重要だと思うものを1つ選んでください</p>	103	100%
1. 事業費などの資金面の援助	30	29%
2. 事業の展開する場などの協力	38	37%
3. 団体の活動内容や事業の情報発信	28	27%
4. 特になし	2	2%
5. その他(具体的に)	5	5%
<ul style="list-style-type: none"> ★市の施設以外の会場でも同じように広報してもらいたい。 ★200~300人の会議・集会所がない。グリーンスタジオ、I&Iホールの使用料は高すぎ ★NPO法の普及や設立、運営、税務、会計などの周知を計るための講座などを行った方がよい。千葉県で行っているが、身近な方が良いと思う。 ★広報に多く載せてくれるようになると有難いです。 		*
<p>問11. 市民活動団体と市との協働の形について、重要だと思うものを1つ選んでください</p>	104	100%
1. 行事の趣旨に賛同し、その開催にあたり支援する「後援」	22	21%
2. 行事の企画または運営に参加し、共同主催者となる「共催」	44	42%

3. 行事の企画または運営に参加しないが、行事の趣旨に賛同し共催に準じて協力する「協賛」	28	27%
4. 市から施設や事業などの管理・運營業務を受託する「委託」	1	1%
5. わからない	6	6%
6. その他（具体的に： ★指定管理者制度よりの拡大 ★各団体の情報が知りたい。コーディネイトが欲しい。申請書類の作成が負担という声も耳にする。上手にアドバイスできるいわば「中小企業コンサルタント」みたいなものが ★私達の活動は老人施設等なので上記のことは関係ないと思う。	3	3%
問12. 今後、市との協働した取り組みを意識して、公共性の高い事業を展開していきたいと考えますか。1つ選んでください。	102	100%
1. 市と協働で事業を展開していきたい	69	68%
2. 団体独自の事業を展開するのみでよい	19	19%
3. わからない	7	7%
4. その他（具体的に） ★規模が大きくなりすぎると事業運営が負担になることも考えられるが多くの人に参加してもらいたいとは思っている。 ★平和、人権活動に対する市川市の協力を特に希望する。市の職員は、平和、人権問題の市民活動にはほとんど参加しない。 ★市と協賛・協働で事業を展開して行きたいが、本会の事業規模は小さく無理のようです。市の行う事業に対する協賛・協働には協力していきたい。 ★実行中 ★空き家など市が借りて老人のたまり場を増やして欲しい。 ★市と協働での事業展開と同様の事業を実施している他団体と、その独自性を生かしながらネットワークを組んで事業の展開や情報交換をする。 ★例えば、町中の場所を貸して欲しい。	7	7%
問13. 1%支援制度については、来年度も引き続き実施していく予定ですが、あなたの団体はこの制度に応募しようと思っておりますか。1つ選んでください。	95	100%
1. 応募する	67	71%
2. 応募しない	10	11%
3. 現時点では答えられない	18	19%
問14. 1%支援制度について、その他具体的な意見・改善点などがありますか。	48	
★ボランティア活動には市の1%支援制度は大変助かります。是非続行をお願いいたします。 ★①1%支援制度の認知度、賛同者が少ないと思われる。②サラリーマン等強制納税者の支援方法を一般納税者と同様(納税通知書に支援申込書を同封)にすれば良いのでは。③支援者集めが大変！ ★新しい公共のあり方として高齢者の孤独死ゼロ作戦や見守り隊を作るなどの活動を市と協働していくための支援金。事務所や専従者の給与などを1%支援金で保障していけるように考えてほしい。 ★市民参加の行政だが、この1%支援は市川が全国に自負できる制度であり、より充実させ地方行政の範となされる様期待します。 ★納税者にもっと参加してもらうために、源泉徴収票に1%支援を宣伝したり、確定申告や年中窓口で1%の宣伝に努めること。 ★①改善して申請手続きを簡素化してほしい。②1%を認可された場合、団体の年間事業費に加え一度に使用するのではなく回数を分けて使用するようになってほしい。③給付された金額に倍額の事業を行うようになっているがこれを是正しろ。 ★いろいろお世話になりました。今後もよろしくお願いいたします。		

★スポーツ団体のように会員の多い団体とは違い、福祉・ボランティア・まちづくり等、少ないメンバーで活動している団体で、希望支援額に満たない団体に対しては、市民にアピールする場を増やすなど援助策を考えてあげてほしい。

★1%支援制度の規則の詳細を見たことがないので何ともいえないが、当初から矛盾を感じている点がある。市民の税金を使うのであるから、活動内容は何でも良いという事ではない筈だ。「自分達の為」だけでなく「世の為」「他人のため」に何らかの影響を持つ活動団体に絞るべきと考えるがいかがなものでしょうか。

★1%支援制度への参加キャンペーンに初めて参加してみて市川市民の皆様があまり関心を持っていないこと、又、ボランティア活動そのものへの興味が無いことを実感しましたが、私達は自分達の自然食品を中心とした食育推進活動を地道に続けていくことによって皆様の健康や幸せ作りに貢献する他には、認知度を高めることはできないのではないかと考えています。

★地域との密着度が高い団体が多くの支援を受けるシステムだけではなく、社会的、公的な面で有用かつ必要な活動をしている団体に、多くの支援が受けられるようなシステムを作るべきだと思う。

★支援団体は、公益活動に限定すべきである。この公益とは、市の事業として挙げられている事業である事です。趣味の団体への支援には疑問である。

★他団体の活動を批判する気持ちはありませんが、「NPO支援」をどうしても必要なのか？と思うような事業団体に市民税を還元するのは、不可解だ。例えば、マージャン、ゴルフ、パソコン講座、生け花、納税貯蓄組合、家庭倫理、マンション管理など。

★今回初めての参加でしたが、いろいろとご協力を頂きありがとうございました。分野毎に団体番号をとってもらえたら1%支援をしてくださる方が団体を探す時に分かりやすいと思えた。”提出書類が多いのかなあ”但し、ホームページ等PR資料は必要で

★支援基金を助成金として使って欲しい。ジャンル別に分けて。

★定着＝マンネリくんか。制度の趣旨や1%制度の意味をもう一度PRしたらどうか。

★毎年、市民の皆さんに上位で選んでいただきありがとうございます。活動により居宅した方々はほとんどが生活保護のため、この制度に参加できないのを残念がっています。届出の簡素化と投票などの制度があればよいと思います。

★これからもよろしくお願いします。

★1%分の資金運用に対する規制は廃止して、信頼が深まらない事業体は別途扱いにする。

★①NPOは1%での支援とは違う公的な支援が必要なのではないかと考えます。②市民活動団体を市川市としてどうみているのかが問われる制度だと思えます。③会議や打合せで気軽に使える場所が欲しいと思っています。

★役員が高齢になり事務処理が負担となりだした。同じような団体が他にもあると思うが、負担がなくわずかでも支援していただける様な案が考えられないでしょうか。書類審査だけで(出席しないですむ)最低の支援がしていただけるような。

★1%支援を受けて影絵公演に必要なOHP機器を購入するということも考えないではありません。しかし、映像センターで貸していただくことで乗り越えています。家に置くことも場所の関係で100%欲しいということにはなりません。我俣を言えば、休館時、閉館時にも貸出(返却)が可能であれば花丸なんです。

★多くの市民の納得を得られるボランティア活動の支援を重点的に行っていただきたい。

★9/12に今年度の事業が無事終了しました。ありがとうございました。

★推薦したくても納税番号が分からない。手続きが面倒。推薦してくれた人を知りたい。

★①基金の用途について、もう少し知恵を出して、少しでも多くの団体が恩恵を受けられるようにしてください。サポート用品を「購入」してしまえば、維持・管理・廃棄に負担がかかるので、「レンタル業者」を上手に活用できないかなど。②PRには、1%サミットや「1%支援制度に関する論文」などを活用・参加することによって、この制度を根付かせて、育ててくださる事を期待します。時代に流されない理論構築が必要だと思えます。

★参加できればと思っています。年度当初は当協会に事業計画に追われていて申し訳ありません。修正(特に会計)が可能ならば検討できると思います。

★活動の対象がいろいろなので分からない。私達の活動に関しては今のままでよい。

★活動資金が止むを得ず用意できなかった場合、集まった支援金の範囲内でその救済措置を設けて欲しい。

★同好会の性質の強い団体への支援には疑問を感じます。事業としては特定できない小さな真のボランティア活動への支援を願いますが、この投票制度では難しいことでしょう。今までの支援基金への積立金の細かい収支報告がなされることを願っています。

★申請手続きの簡素化を希望します。

*

*

*

*

*

*

	<p>★ケーブルTV等で事業の紹介を個別に放映していく事。</p> <p>★大げさな事業という形式はないですが、市内各地の施設や病院等にボランティア演奏に行っています。このような活動支援についても検討をしていただけると有難いで</p> <p>★市民が選択届けする団体が多すぎる。私達のように会員数の少ない団体はそれでは不利になってしまう。基金のお金はもっと有効に使って欲しい。</p> <p>★いつもありがとうございます。大変助かっています。</p> <p>★資金は勿論必要だ。学校の空き教室等、会議、事務室等の提供 & 援助。</p> <p>★特にありません。現在の方法にもう少し慣れてみたいと思っています。</p> <p>★私達の会は、メンバー数が多くありません。しかし、事業は広く市民の啓蒙を計る性格ですので、支援の広がりを作るのが容易ではありません。具体的には案がありませんが、自己資金と同額ではなかなか運営が困難です。</p> <p>★事業計画が行政としても推進に価する内容であれば積立金を認めること。※事業計画の良否は納税者が決めることである。</p> <p>★NPO担当の皆さんのこれまでの取り組みや活動団体へのご協力に心から感謝しています。今後は、少しでも市民の皆様之恩返しができるような団体でありたいと存じます。支援金ではない援助を求める事業にも、お力をお借りできればと思います。</p> <p>★折角の良い制度なのに、今年はあまり活発に支援金集めのPRができず、ちょっと悔しい結果となりましたが、わずかでも応援いただいた方々のご期待に応じられるよう、毎年毎年の事業を成功させて信頼を作りたいと思います。いつも助言ありがとうございます</p> <p>★余剰金は会のために使えるように計っていただきたい。</p> <p>★私達の団体は弱体であることと、母子家庭の母親は子育てと仕事で手一杯でなかなか協力が難しく企画部に援けていただきながら事業を行っています。ボランティアとしてその時々協力していただける人材が欲しいと願っています。市が企画部に全て委ねていますが、協力というか関心を持っていただける様な連携が欲しいと願っています</p> <p>★現状に満足。</p> <p>★1%支援制度について、まだ、知らない方が多いとかんじています。周知していただけるための印刷物を団体としてもっと活用できればと思います。年間通して利用できるA4サイズのチラシのようなものがあればいいかなと感じます。NPO担当の方の熱心な対応にはいつも感謝しています。他の団体との連携など検討して、コラボしてイベントを行うなどできればと思っています。その際の相談窓口として今後ともよろしく願い</p> <p>★最後の会計報告の時、領収書の選択に迷うときがあります。特に会議費の扱い等。市民の立場に立って考慮してくださいと言われますが難しいです。</p> <p>★立派な案内本は必要なし、それより納税通知に全員ハガキを同封する。</p>	<p>*</p> <p>*</p>	
--	--	-------------------	--

<p>感想：</p>	<p>◎制度に対する評価は大変高く、制度の継続を求めている。制度への参加経験者の全てが継続を希望し、未経験者の44%が参加又は検討をしていることが評価を表している。</p> <p>なお、改善すべき点は改善すべきも79%であり、更により良い制度になることを願っている。</p> <p>◎改善すべき点では、特に、適用団体は、公益活動団体に絞るべきとの意見が多く、同好会的な団体への適用には抵抗感が強く見られる。</p> <p>◎また、手続きが複雑または、難しく、準備書類の簡素化や登録番号の固定化などを求める意見も強い。参加経験者の中で、唯一、不参加を表明している団体も、手続きが複雑な為、メンバーの老齢化により対応能力の不足により、止む無く不参加の予定とのことであった。</p> <p>◎PR面では、まだまだ不足と思う団体も多く、特に、サラリーマン層への強化を求めており、改善の余地がありそう。</p>
<p>* 印</p>	<p>その他意見欄のコメント後ろに付けた*は、制度への参加未経験者のもの。</p>